



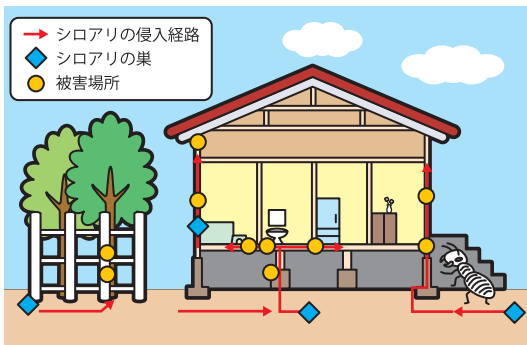
# 再防蟻工事の重要性

## ■ 再防蟻工事の重要性とシロアリの被害

弊社が新築時に標準使用しているシロアリ防除薬剤のの薬効は最大5年間となっており、5年を過ぎると徐々に効果を失います。また、防蟻保証も切れるため、**シロアリにより建物構造部に対しての不具合に関しましても保証対象外となり、通常の状態回復請求等が出来なくなります。**再防蟻工事を行なうことにより、普段見ることのない床下の木造床組の腐れ・カビや排水管から水漏れ等についても確認することもでき、木造住宅の維持管理には必要不可欠ですので、是非ご参照下さい。

### ● シロアリの生態

シロアリは日光嫌い床下から侵入してきます。



\*シロアリは枯葉・倒木・枯れた植物といった、森林のゴミを分解するという重要な役割を持っている為、土にある所に必ず生息していると言っても過言ではありません。



\*全面コンクリートでも僅かな隙間から侵入してきます。

### ● シロアリの食害



床下の材木(土台・大引き)  
シロアリにより中身が無い状態

\*防蟻保証が切れていると食害による不具合は無償補修の対象外となります。

### ● シロアリ防除工事について



床下から侵入してくる為、床下に一定の薬剤濃度を保持する事が重要になります。

又シロアリの生態にはお互いが接触しあうグルーミング行動があります。

シロアリ同士が舐め合いを行なう行為です。

- ・体の表面を清潔に保つため
- ・兵蟻や女王蟻へエサを食べさせる
- ・共生原虫を他個体へ与える

したがって、**接触毒性のある薬剤を定期的に床下へ散布する事が、最適な施工です。**

※再防蟻工事で使用する防除材(ハクチサン)は動植物・人体に安全性の高い薬剤です。